

J H F 理事会議事録

日 時： 2006年1月27日(金) 11:00~17:00

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 大沢 豊 議事録署名人： 菊池 守男 松田 保子

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一

西ヶ谷一志 松田保子

【監事】對馬和也

欠席【理事】城 涼一 関谷暢人 中島吉徳

（報告事項 6-1~6-3 を先行し、その後松田理事到着により定数を満たしたので、審議を開始した。出席理事 7 名、欠席理事 3 名。）

3. 会長挨拶

下村会長： 2005 年度は、収支の危機的状況に一応の歯止めを掛けることが出来ました。そこで 2006 年の眼目は何かと申しますと、社団という冠を一応置いて、お客さんを増やすビジネスに徹することだと思います。一般に、会員が或る一定数を切ってしまうと、雪崩現象を起こすといわれています。即ち他のスカイスポーツに見るように、細々とした趣味のグループが群雄割拠し、統括団体としての組織の崩壊につながります。

そのような事態になる前に、「フライヤー会員はお客様」というビジネスの意識に徹したいと思います。それで或程度の歯止めがかかれば、また社団のウェイトを上げていけば良いと思います。

そのために、次の 2 つを緊急に実施することが必要です。

1 つは広報活動、私が去年から言っている Web の改善です。即ち新しくこの世界に入ってくる愛好家のための Web にしなければいけないと思います。また JHF レポートを発行する余裕がありませんので、そういう点でも Web を見直すべきです。

2 つ目はスクールと JHF が直接コンタクトする機会を増やす。公認スクールと、未登録のクラブ・スクールを合わせると全国で約 280 あります。これらのクラブ・スクールがお客さんと接する大事な窓口です。その窓口に直接、月に 1 度印刷物を届けたい。

JHF レポートの一回分送料の約 5 分の 1、年間 50 万以下の予算で出来ます。

航空協会の意向でもある、スクールとの協力関係を再構築することにもつながります。以上 2 つの柱を基本に据えて、2006 年度を乗り切りたいと考えております。

第 4 - 2 号議案 委員会設置規程第 18 条の改定

議長： 委員選任の前に委員会設置規程第 18 条改定について審議します。西ヶ谷理事

から説明願います。

西ヶ谷理事： 委員長が委員の互選によって決まると理事会の意思がなかなか伝わりません。従って委員長を理事会で選出し、本人の受諾をもって選任されるということで規程を変えたいと思います。

下村会長： この議案が手続き上問題ないかどうか監事に伺いたい。

對馬監事： 委員会設置規程は理事会で定めているので、施行日を併せて決めて実施すれば問題はありません。

松田理事： 改定しなくとも、担当理事が委員会を把握していれば大丈夫でしょう。この問題は予め分かっていた問題であり、制度委員会にも事前に相談をしておくべきだと思います。

荒井常任理事： 今迄通りでいいという発想はやめるべきです。理事が指導力を発揮し、委員会活動をバックアップしていかないと物事が進みません。

下村会長： 根幹的なことは制度委員会に諮問することにして、理事会で決められることは直接決めましょう。冒頭で述べた様に、社団という立場で杓子定規に考えるとそうでしょうが会員が減ってきている状況で、原則論ばかりでは、改革は進みません。

採決の結果、【賛成5 反対1 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷

反対： 松田

第4-1号議案 2006年度常設委員会・広報出版部員の選任

話し合いの上、次の選任案に集約された。

HG 競技委員会 高橋明(委員長)、砂間隆司、大田祐輔、松村貴博、太田昇吾

PG 競技委員会 岡芳樹(委員長)、児島彰、中川喜昭

補助動力委員会 山崎勇光、星野納、小松圈悦、須藤彰、金井博美(委員長：保留)

教習検定委員会 中台彰(委員長)、小林秀彰、岩橋亘、桂敏之、山谷武繁、伊尾木浩二

安全性委員会 下山進(委員長)、板垣直樹、桂敏之、小林秀彰、山本貢

制度委員会 市川孝(委員長)、小林秀彰

広報出版部 東野武史(部長)、山下敏治、小間井みゆき

上記選任案を一括して採決することになった。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

委員長はそれぞれ承諾により正式となる。変更ある場合はこれを担当理事に一任する。

第4-3号議案 2006年FAI賞の推薦

オノラリー・グループ・ディプロマに南陽市、エア・スポーツ・メダルに白山市を推薦することで調整した。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

第4-5号議案 2006年PG日本選手権開催地の決定

議長： 静岡県フライヤー連盟からパラグライディング日本選手権 2006 富士山大会の正式立候補があります。

下村会長： 参加資格は、XC証でなくてもいいとの議論があったと思いますが。

西ヶ谷理事： まだ正式に決まっていないのと、このエリアではXC証を条件にした方がよいと判断しています。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

第4-6号議案 JPA 技能証取得者に対する暫定措置

荒井常任理事から別紙のとおり提案され、検討の結果次のとおり一部修正することになった。

JPA 技能証取得者に対する暫定処置：

同クラスのJHF技能証を受検した者であって、理事会承認を受けた者には、当該技能証の申請資格を与える。

修正案について採決し、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

併せて同暫定措置を各スクールへ直ちに配信することとした。

第4-7号議案 技能証規程改定について

技能証効力を、距離により制限することを止める

提案を基本的に了承するも、制度委員会に諮問した上で決議することが付け加えられた。
修正案について採決し、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

議長： 西ヶ谷理事はこの件を制度委員会に諮問し、2月理事会迄に返事をもらうように手配して下さい。それでは、第4-4号議案に戻ります。

第4-4号議案 2006年度事業計画・予算案の決定

次の点について話し合った。

ア 収入の見積もりを $4500+150=4650$ 万円とする。

イ 共済会を閉鎖する為の必要経費を、2005年度決算に漏れなく引当金で計上する。

ウ リース契約の取り扱い方法について、エコノミックスを検討する（対馬監事）

エ 広報予算の名称を、JHFレポートから本来の広報関係予算に訂正する。

オ スクールをバックアップするための予算を計上する。

（安全でサービスの行き届いたスクーリング、効率の良い経営についての情報交換）

カ 新委員の標準交通費を作成する

キ 国体デモスポ大会の補助は10万円とする。

ク 特別会計の名称を特定事業支出金と訂正する。

ケ 日本選手権及び世界選手権について、それぞれ予算100万円が計上されているが、50万円でもいいのではとの意見もあった。

コ 2006年度は委員・広報出版部員に対して、日当に替えて通信費として、1会議につき千円を支給する

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

サ 西ヶ谷理事から教習検定委員会の事業計画・予算案について、別紙のとおり提案があった。

(1) 教習検定委員会を教員・スクール事業委員会に改名する

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

(2) web「JHF全国公認スクールガイド」(仮称)の製作と運営

教員・スクール事業委員会で、入門者向JHFホームページの製作を、予算35万円以内で早急に完成させる。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田
各スクールへ、ホームページのリンクを呼びかける。

(3) 助教員検定会のタイムリーな開催
教員検定会と同じ仕組みを作る。

(4) JL大会のバックアップ

協議事項

5-1 松浦様からの書簡

菊池理事から1月20日松浦様訪問の結果について報告がなされた。

松浦様へは、エリア管理者の救助マニュアル(富士五湖パラグライダースクールの安全セミナー資料)と、パイロットの対応マニュアルを提出して理解を求めた。

これに対し次の三点の要望を頂いた。

1. 昨年秋のJHFレポートには、事故調査報告書の具体的修正について、全く触れられてなかったのので、次回はそのことを是非掲載して欲しい。
2. 救助さえ迅速に行えば、助かる命があるということを強調してもらいた。
3. 団塊の世代が退職してパラグライダーを始めることが予想されるので、シニアの安全対策を具体的に取り入れてもらいたい。

これらの要望については、ご遺族の立場に立って、改めて検討すべきであることが了承された。

5-2 兵庫県連への回答(国体参加・体協加盟への基本方針)

後日メールで回答書を検討することになった。

5-3 JPA関係者の教員・助教員県連推薦について

下村会長： 埼玉県連からJPA関係者の教員更新推薦について問合せがあった。

2月埼玉県連理事会で審議したいので、JHFの方針を教えて下さいとのことでした。

是非推薦をしていただきたいとお願いましたが、こういうことは他の県連でも問題になっていると思うので、改めて周知徹底した方が良いと思い提案しました。

審議事項に変更した上で採決し、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

5-4 新会員システムについて

ソフト上限予算 45 万円（ハード PC は別予算）で、北野常任理事に一任された。

5-5 教員更新講習会の運営（継続協議）

教員更新検定会から「安全指導最新技術講習会」に名称を改める。

受益者負担の原則で、一般のフライヤーにも参加出来る形にする。

5-6 任意保障プランに付帯する基本保障の取り扱いについて

任意加入者へ付帯する基本保障について、2006 年 4 月以降 2007 年 3 月迄の期間を JHF でリスクを負担する。

審議事項に変更した上で採決し、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、菊池、北野、下村、西ヶ谷、松田

報告事項

6-1 予算収支：進捗管理表

下村会長から、12 月末の収支状況が報告され、一応財政上の危機的状況は回避されたことが宣言された。これに伴い、荒井常任理事からこのニュースを広くピアールすべきとの提案があり、協議の結果、JHF ウェブサイト・サーマルネット、パラワールド誌、フライヤー誌、スクールへの通信等あらゆる手段でピアールすることで一致した。

6-2 フライヤー会員・技能証実績・共済会加入実績

フライヤー会員登録数が対前年度 87.5%、技能証発行が対前年度で PG が 95%、HG 65% MP G 113.5% 平均で 90% の達成であることが報告された。いずれも予算作成の数値を上回っている。一方において、愛好者で登録切れの会員がまだいることも指摘された。

6-3 東京海上日動『団体フライヤー障害保険』について

フライヤーのための団体傷害保険を調査中であり、現時点で取得している各社の見積内容が別紙のとおり報告された。この他にも候補となる保険会社が紹介され、更に調査することになった。なお JHF として、フライヤーの為に団体傷害保険を準備する方向性についても了解された。

次回理事会を 2 月 21 日(火)に開催することを決めて閉会した。

次ページへ

この議事録が事実と相違無いことを確認し署名する。

議 長 _____
(大沢 豊)

署名人 _____
(菊池守男)

署名人 _____
(松田保子)

議事録作成人： 桜井加代子